

杭州 2022 アジア競技大会 トラック&フィールド種目日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2024パリオリンピック競技大会にむけて、本大会での成果は重要である。その過程において、本大会は2023年度の重要競技大会と位置づけられる。このことから本大会では、2024パリオリンピック競技大会でのメダル・入賞を期待される競技者および本大会でメダル獲得が期待できる種目については戦略的に派遣する。

2. 開催地

杭州（中国）

3. 開催期間

2023年9月23日（土）～10月8日（日）

4. 対象種目

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、4×100mリレー、4×400mリレー

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、4×100mリレー、4×400mリレー

(3) 混合

4×400mリレー

5. 主なスケジュール

2023年

4月～5月	日本グランプリシリーズ
6月1日（木）～4日（日）	第107回日本陸上競技選手権大会（2023／大阪）
6月10日（土）～11日（日）	第107回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2023／秋田）
6月中旬	日本代表選手発表予定

6. 選考競技会

(1) 個人種目

- 1) 第107回日本陸上競技選手権大会（2023／大阪）
- 2) 第107回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2023／秋田）
- 3) 日本グランプリシリーズ・10000m
日本グランプリシリーズ延岡大会 第34回ゴールデンゲームズ in のべおか（2023／宮崎）

(2) リレー種目

- 1) 最重要選考競技会
第107回日本陸上競技選手権大会（2023／大阪）
- 2) 参考競技会
ワールドランキング対象競技会*
※2023年よりワールドアスレティックス（以下「WA」という。）が設ける制度により、ワールドランキングの対象として承認された競技会

7. エントリー枠

男女各種目最大2名までエントリー可能。

ただし、派遣人数枠に限りがあるため、その範囲内の人数とする。

8. 選考基準

(1) 個人種目（男女 10000m以外）

下記の項目により優先順位を定める（数字の若い順に優先）。

- 1) ワイルドカードによりブダペスト 2023 世界選手権の参加資格を得た競技者。
- 2) オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会で 8 位入賞以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2023 年 1 月 1 日から第 107 回日本陸上競技選手権大会（以下「日本選手権」という。）※1 終了日までに、ワールドランキング対象競技会においてブダペスト 2023 世界選手権の参加標準記録を満たした競技者。
- 3) 日本選手権 3 位入賞以内の成績を収めた競技者であって、日本選手権※1 終了時点までにブダペスト 2023 世界選手権の参加標準記録を満たした競技者。
 - ① 日本選手権の順位
 - ② WAワールドランキングのポイント※2 上位者
 - ③ 2023 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 4) 日本選手権※1 の成績が反映された直後のWAワールドランキング（1カ国3名カウント）※2 において、ブダペスト世界選手権で定められた各種目のターゲットナンバー相当以上のポイントを有する競技者。ただし、WAワールドランキングのポイント※2 上位者を優先とする。
- 5) 本大会においてメダルまたは入賞が期待され、強化委員会が推薦する競技者。

※1 混成競技以外の種目は第 107 回日本陸上競技選手権大会、混成競技は同・混成競技

※2 WAワールドランキングは以下のサイトを参照：

<https://www.worldathletics.org/world-rankings/>

(2) 個人種目（男女 10000m）

下記の項目により優先順位を定める（数字の若い順に優先）。

- 1) ワイルドカードによりブダペスト 2023 世界選手権の参加資格を得た競技者。
- 2) オレゴン 2022 世界選手権で 8 位以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2023 年 1 月 1 日から日本選手権終了日までに、ワールドランキング対象競技会においてブダペスト 2023 世界選手権の参加標準記録を満たした競技者。
- 3) 選考競技会 3 位以内の成績を収めた競技者であって、選考競技会終了時点までにブダペスト 2023 世界選手権の参加標準記録を満たした競技者。
 - ① 選考競技会の順位
 - ② 参加標準記録有効期間開始日から選考競技会終了時点までの記録
 - ③ 2023 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 4) 選考競技会 8 位以内の成績を収めた上位の競技者から選考方針に則り選考する。
- 5) 本大会においてメダルまたは入賞が期待され、強化委員会が推薦する競技者。

(3) リレー種目

リレー種目の代表の選考は、個人種目に準じて選考するが、リレーの特性を考慮する。

9. 選考方法

故障等により、大会本番で競技力を発揮できないと強化委員会が判断した場合を除き、上記選考基準に従い下記の方法で選考する。

(1) 個人種目

8. 選考基準（1）1）～5）、（2）1）～5）に従い、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事が承認することにより決定する。

(2) リレー種目

個人種目での選考状況を鑑みて派遣の有無を検討し、8. 選考基準（3）に従い、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事が承認することにより決定する。

10. 補足

- (1) 派遣人数枠及び代表選手は、派遣団体である日本オリンピック委員会（JOC）により決定されるものであり、本連盟により選考されても、最終的に代表選手に選出されない場合がある。
- (2) 代表選手は本連盟、派遣団体、大会主催団体等が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記（2）を遵守しない場合
- (4) リレーの代表選手は、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加する義務を負うものとする。
- (5) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (6) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会及び選考基準について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上